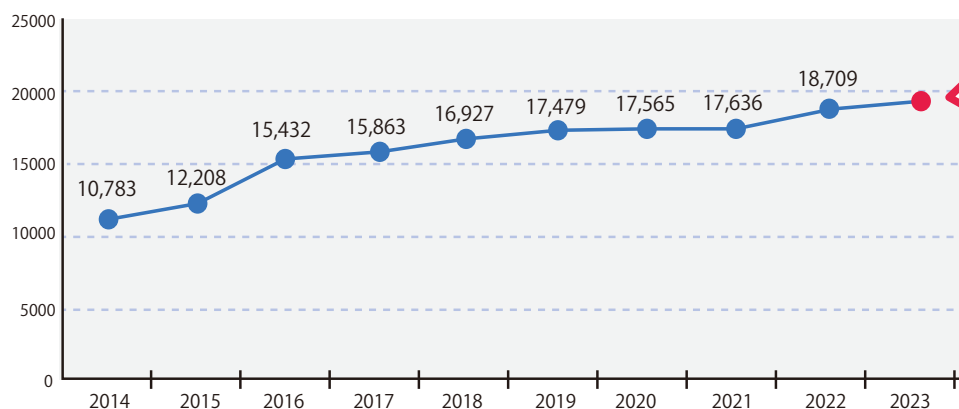




## 今月のテーマ 認知症高齢者の“徘徊”と福祉用具レンタル市場の現状

## 認知症高齢者の徘徊問題は深刻化の一途

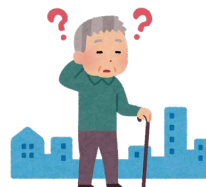
高齢化の進展とともに、認知症高齢者による「徘徊」や「行方不明」問題は年々深刻になっています。警察庁の最新統計（2024 年）によると、認知症またはその疑いによる行方不明者は 18,121 人に及びました。これは 2015 年から、およそ 6,000 人の増加となり、統計開始の 2012 年からではほぼ 2 倍に増加しています。徘徊は認知症の中核症状のひとつであり、見当識障害により、時間や場所の認識が困難となることが原因とされています。



認知症に係る行方不明者数推移

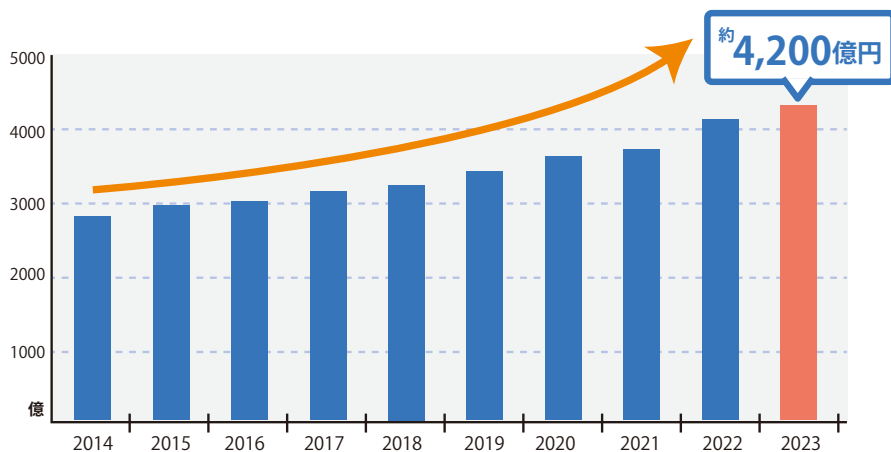
出典：令和 5 年における行方不明者の状況（警察庁）

2023年  
認知症  
行方不明者  
19,039人



## 福祉用具レンタルの役割と市場動向

認知症高齢者の安心と安全を支えるのが、福祉用具レンタルサービスです。2023 年度の介護保険認定者は約 707 万人、そのうち 256 万人 (37.1%) が福祉用具の利用しています。福祉用具レンタル市場は 2023 年度で約 4,200 億円と年々拡大しています。



福祉用具レンタル市場の推移

福祉用具レンタル  
利用率の増加傾向



市場規模の拡大



## 家族と介護施設の安心を支える！福祉用具レンタル

福祉用具レンタルは初期費用の負担が軽く、レンタル機器の更新やサポートも充実しており、認知症老人徘徊対策機器は、家族の見守り負担軽減と安全確保に役立っています。

## テクノスジャパン「家族コールシリーズ」



徘徊感知機器で多くご利用いただいているのが、家族コールシリーズです。2009 年 4 月に「家族コール 1」が発売され、昨年刷新された「家族コール 4」が最新機種です。2025 年までに弊社から出荷された家族コールは累計 9 万台を超え多くご利用いただいています。次回は徘徊感知機器「家族コール 4」を特集いたします。